

2022

学習センター利用の手引

● ● 学生の皆さまへ

放送大学の学習センターは学生の皆様にとりまして大学キャンパスにあたると言えます。埼玉学習センターは、JR 大宮駅に隣接する大宮情報文化センタービル（JACK 大宮ビル）の 8 ～ 10F にあります。全国に 50 ある学習センターのなかでも、交通アクセスの良さ、施設の広さという点で際立っています。

以前は単位認定のための試験を受験するためには、学生の皆様に学習センターに来ていただく必要がありましたが、今年度からは原則として自宅での受験になりますので学習センターに来ていただく必要はなくなりました。しかしながら、学習センターには下記のような 3 つの役割があります。是非、学生の皆様に有効に活用していただきたいと思います。

第 1 は、面接授業の実施です。8、9F に 6 つの教室、講堂、実験室、PC 実習室等があります。当センターでは毎年の学期ごとに、70 科目以上の多彩な面接授業を実施しています。

第 2 は、図書室、視聴学習室（10F）等の利用の場です。図書室は見晴らしの良い広い学習スペースとともに、4 万冊以上の書籍を配架しています。

第 3 は、サークル活動など学生同士の交流の場として、またサロンなど学生と教員との接触の場として利用できます。教室、講堂などが、面接授業に差しさわりのない限り、学生の同窓会やサークルの活動に無償で開放されています。

現在約 3,400 人の学生が埼玉学習センターに所属し学んでいます。残念ながらコロナ禍のためにここ 2 年ほどは学習センターの全面閉鎖を行った期間がありました。図書室等利用の定員制限、サークル活動の制限、なども行いました。毎年 9 月に開催される埼玉学習センターの学園祭「埼玉フェスタ」は通常であれば学習センター 8、9F の教室、講堂で盛大に開催されるのですが、一昨年は開催中止、昨年は Web 開催となりました。

常態に戻りましたら、より多くの学生が集い、活発で魅力あふれる学習センターに発展するよう、今後も努力していきたいと思っています。

埼玉学習センター
所長 堀尾 健一郎

放送大学学歌

那珂 太郎 作詞
柴田 南雄 作曲

(一)

あまたの星々のなかの この地球にあって
われらはまなぶ 世界を 自分を
われら どこから来て どこにゐるのか
生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ
知は光 みどりの未来を展くため
いつでも どこでも
見えない友と 共に生き 共にまなぶ
開かれた大学 放送大学

(二)

はるかな永劫のなかの この時代にあつて
われらは知らう 社会を 自然を
われら どこから来て どこへ行くのか
生きるとは知ること 知ることにはよろこび
知は力 よりよい生を拓くため
朝に 夕に
親しい友と 語り合ひ 共にまなぶ
開かれた大学 放送大学

1. あ また の ほしほしの なか の この ち きゅ う に あつて
2. は る か な えいごうの なか の この じ だ い に あつて

わ れら は まし な ぶ せ かい を じ ぶ ん を
わ れら は まし な ぶ せ かい を じ ぶ ん を

わ れら ど こ か ら き て ど こ に い る の か
わ れら ど こ か ら き て ど こ へ い く の か

い き る と は まなぶこ と まなぶの は た の し み
い き る と は まし るこ と まなぶの は た の し み

ち は ひ か り み ど り の み ら い を ひ ら く た め
ち は ひ か ら り よ り よ い の い の ち を ひ ら く た め

い つ で も ど こ で も み え な い と も と と か も に い き と も に ま な ぶ
あ し た に ゆ う べ に し た し い と も と と か た り あ い と も に ま な ぶ

1.2. ひ ら か れ た だ い が く ほう そ う だ い が く

学習センターについて	4
主な業務	
学習センターを利用できる人	
利用上の注意事項	
利用時間等	
授業等日程	5
学年暦	6
年間予定表	10
施設の案内	16
図書室の利用	19
視聴学習室の利用	21
学習上の注意事項等	21
面接授業	
面接授業追加登録	
通信指導	
単位認定試験	
次学期の科目登録	
放送授業	
公開講演会	
単位修得までの学習の流れ	23
学習相談・サロン	24
諸手続・諸証明等	25
施設の利用・課外活動等	27
講義室・講堂・演習室等の利用	
学生用掲示板	
学生作品展示用壁面	
サークル・学生団体	
学生研修旅行	
学生団体一覧	
埼玉学習センター関係団体	
DVD再視聴施設	31
放送大学本部・近隣の学習センター	32
学習センターの教員	33
所在・案内	36

学習センターについて

主 な 業 務

- ・学習センターでは、次のような業務を行います。
- ① 面接授業の実施
- ② 学習上の各種相談
- ③ 図書・学術雑誌を備え、学習の参考に提供
- ④ 番組再視聴の機会を提供
- ⑤ 学生旅客運賃割引証および諸証明書の発行
- ⑥ グループ研究・討論会・サークル活動等のための施設提供

学習センターを 利用できる人

- ① 本学の学生
- ② その他所長が利用を許可した者

利 用 上 の 注 意 事 項

1. 学習センター利用の際は、**必ず学生証を携帯してください。**
2. 学習センターには、**駐車場・駐輪場はありません**ので、来所の際は公共の交通機関を利用してください。
3. 学習センター内では静粛に願います。
4. 学習センター内では、学習上必要とする所持品以外は、無料コインロッカー（100 円硬貨が必要ですが、使用後に戻ります）を利用してください。
コインロッカーの利用は、当日限りです。貴重品は、必ず身につけておいてください。
5. 学習センター内は、火気の使用や危険物等の持ち込みは禁止されています。
6. 学習センター内は禁煙です。（喫煙所は、4 階と 12 階にあります。）
7. 忘れ物は、10 階の「忘れ物保管庫」に展示してありますので、心当たりのある方は事務室に申し出てください。忘れ物の保管期間は届出日より 6 ヶ月間です。
8. 外部からの電話は、緊急やむを得ない場合以外は取り次ぐことはできません。
9. **携帯電話・スマートフォン等はほかの人の迷惑にならないように、室内持込に際してはマナーモードにしてください。**
通話等はエレベーターホールでしてください。
10. 学習センター内において、許可無く、宣伝・勧誘及び営利を目的とする販売等の活動を行うことは一切禁止します。

利用時間等

曜日		開所時間	図書室・視聴学習室・パソコンの利用時間
火～日 (祝日等を除く)		9:30～12:00 13:00～18:00	9:30～18:00
備考	(1) 教材販売、学生証の再発行、各種証明書や学割証の当日発行の受付は、17:30までです。		
	(2) 機器整備、図書の整備等により、臨時に開所時間を変更する場合がありますので、掲示等にご注意ください。		
	(3) 学習センターの開所日および利用時間は、学習センター毎に地域の実情に応じて異なりますので、埼玉学習センター以外を利用の際はご注意ください。		

面接授業時間

第1時限	9:50～11:20
第2時限	11:35～13:05
第3時限	14:05～15:35
第4時限	15:50～17:20

※授業構成により、最終日の授業終了時刻が異なります。
詳しくは、受講する授業について面接授業時間割表等でご確認ください。

※注意：詳細は面接授業時間割をご覧ください。

1 2022年度 学年暦

	第 1 学 期					
月	4	5	6	7	8	9
授 業	4/1			7/14	7/15	9/30
	授 業 期 間			夏期学習期間		
	4/5				8/31	
	オンライン授業 科日別に7月中旬までに課題締切。その後、8/31 まで閲覧可能。					
手 続 き 等	4/16			7/31		
	面接授業					
	上旬 卒業研究履修許可通知	5/9～5/31 (Web) 5/16～5/31 (郵送)	通信指導提出期間	7/15～7/26 上旬試験通知(受験票) 単位認定試験 通信指導結果返送	下旬 卒業研究履修申請 (次年度)	成績通知
					8/15～8/30(郵送) 8/15～8/31(Web) 科目登録申請	
次 学 期 の 準 備						9月上旬～9月末 授業料納入
			上旬			中旬
			第2学期募集要項配布			
			上旬			中旬
			出願受付期間			
			※合否判定は複数回行います。			

1. 合否判定は、出願受付期間を数回に分けて行い、その都度合格通知書等を送付します。
2. 夏季集中科目の履修スケジュールは、4月に学習センター等で配布する夏季集中科目履修生用募集要項等をご参照ください。

第 2 学 期						
10	11	12	1	2	3	
10/1		12/28 12/29 1/4 1/5	1/20 1/21		3/31	
授 業 期 間			授業期間	冬期学習期間		
10/5				2/28		
オンライン授業					下旬 学位記授与式 (本部主催)	
科目別に1月中旬までに課題締切。その後、2/28まで閲覧可能。						
10/15			1/29			
面接授業						
	11/8～11/29 (Web) 11/15～11/29 (郵送)		1/17～1/25			
初頭 卒業提出期限 卒業研究報告書	通信 指導提出期間		中旬 試験通知(受験票) 通信指導結果返送	単位認定試験	下旬 成績通知	
				2/13～2/27(郵送) 2/13～2/28(Web)		
				科目登録申請	3月上旬～3月 授業料納入	
	下旬				中旬	
2023 年度第 1 学期募集要項配布						
	下旬				中旬	
出願受付期間						
※可否判定は複数回行います。						

3. 学年暦に変更が生じた場合には、学習センターへ掲示、システム WAKABA、放送などでもお知らせします。
4. 面接授業の科目登録は、上記のほか「追加登録」の機会があります。詳細は、61 ～ 63ページをご参照ください。

1 2022年度 学年暦

(1) 修士課程

第 1 学 期						
月	4	5	6	7	8	9
授	4/1			7/14	7/15	9/30
業	授 業 期 間			夏 期 学 習 期 間		
	オン ラ イ ン 授 業					8/31
	4/5科目別に7月中旬までに課題締切。その後、8/31まで閲覧可能。					
手 続 き な ど		5/9~5/31 (Web) 5/16~5/31 (郵送)	通信指導 提出期間	上旬 試験通知(受験票) 単位認定試験 7/15~7/26	下旬 成績通知 8/15~8/30(郵送) 8/15~8/31(Web) 科目登録(修士全科生・修士選科生)	
研 究 指 導・ 修 了	第1年次 4/2 4/3 入学時 オリエン テーション (臨床以外)	5/9 入学時 オリエン テーション (臨床)			8/18 研究レポ ートⅠ 提出期限	
	第2年次				8/18 修士論文中間報 告(研究レポ ートⅢ)提出期限	
臨 床 心 理 学 プ ロ グ ラ ム		5/10~5/11 基礎臨床 実心習理 (1) 1年次	5/12~5/15 臨床演習 理(1) 1年次		8/2~8/4 臨床演習 理(2) 1年次 8/5~8/7 基礎臨床 実心習理 (2) 1年次 8/25~8/27 集中臨床 面接実習 2年次	
修 士 全 科 生 募 集			中旬	修士全科生募集要項配布		下旬
					中旬	下旬
					出願受付	
修 士 選 科 生 募 集			上旬	第2学期募集要項配布		中旬
					上旬	10月初旬
					授 業 料 納 入	
			上旬	出願受付期間		中旬

1. 修士選科生・修士科目生の可否判定は、出願受付期間を数回に分けて行い、その都度合格通知書などを送付します。

第 2 学 期					
10	11	12	1	2	3
10/1		12/28 12/29 1/4 1/5	1/20 1/21		3/31
授 業 期 間			授業期間	冬 期 学 習 期 間	
オ ン ラ イ ン 授 業					2/28
10/5 科目別に1月中旬までに課題締切。その後、2/28まで閲覧可能。					
	11/8~11/29 (Web) 11/15~11/29 (郵送) 通信 指導 提出 期間		中旬 試験 通知 (受験票) 通信 指導 結果 返送	1/17~1/25 単位 認定 試験 下旬 成績 通知 2/13~2/27 (郵送) 2/13~2/28 (Web) 科目登録 (修士全科生・修士選科生)	
				2/17 研究レポ ートⅡ 提出期限	
		12/16 修士論文 の提出期限	上旬~下旬 ← 修士論文審査期間 (口頭試問を含む) →		下旬 学位記 授与式 (本部主催)
				2/1~2/5 基 臨 礎 床 実 心 習 理 (3) (1年次)	
臨床心理実習 (2年次 外部実習施設において12月下旬までに90時間)					
入 学 者 選 考 (一 次 ・ 二 次)			合格 通知		
	下旬	2023年度第1学期募集要項配布			中旬
				上旬	4月初旬
				授業料納入	
	下旬	出 願 受 付 期 間			中旬

2. 学年暦に変更が生じた場合には、学習センターへ掲示、システム WAKABA、放送などでもお知らせします。

2022年度第1学期 予定表

4 月 (April)			5 月 (May)		
1	金	放送授業開始(～7/14)	1	日	同時双方向Web授業開始(～8/31) 司書教諭資格取得に資する科目登録申請受付(～5/31)
2	土		2	月	閉所日
3	日		3	火	閉所日 (憲法記念日)
4	月	閉所日	4	水	閉所日 (みどりの日)
5	火	オンライン授業開始(～8/31)	5	木	閉所日 (こどもの日)
6	水		6	金	
7	木		7	土	
8	金		8	日	
9	土		9	月	閉所日 通信指導提出期間開始(～5/31(web))
10	日	新規入学者ガイダンス(予定)	10	火	
11	月	閉所日	11	水	
12	火		12	木	
13	水		13	金	
14	木		14	土	
15	金		15	日	
16	土	面接授業開始(～7/31) 面接授業空席発表(12時)	16	月	閉所日 通信指導提出期間開始(～5/31(郵送))
17	日		17	火	
18	月	閉所日	18	水	
19	火		19	木	
20	水		20	金	
21	木	面接授業追加登録開始	21	土	
22	金		22	日	
23	土		23	月	閉所日
24	日		24	火	
25	月	閉所日	25	水	
26	火		26	木	
27	水		27	金	
28	木		28	土	
29	金	閉所日(昭和の日)	29	日	
30	土		30	月	閉所日
			31	火	通信指導提出期限

注) この学年暦は、2022年4月1日現在の予定であり、変更になる場合があります。

6 月 (June)			7 月 (July)		
1	水		1	金	
2	木		2	土	
3	金		3	日	
4	土		4	㊦ 閉所日	
5	日		5	火	
6	㊦ 閉所日		6	水	
7	火		7	木	
8	水		8	金	
9	木		9	土	
10	金	2022年度第2学期学生募集要項配布(学部生・修士選科生・修士科目生～9/14) 〈第1回〉出願受付:学部生・修士選科生・修士科目生(～8/31) 2022年度修士全科生(～8/25)・博士全科生(～8/26) 募集要項配布開始予定	10	日	
11	土		11	㊦ 閉所日	
12	日		12	㊦ 閉所日	
13	㊦ 閉所日		13	水	
14	火		14	木	
15	水		15	金	単位認定試験 夏期学習期間(再放送等)開始(～9/30)
16	木		16	土	単位認定試験
17	金		17	日	単位認定試験
18	土		18	㊦ 閉所日 (海の日)	単位認定試験
19	日		19	火	単位認定試験
20	㊦ 閉所日		20	水	単位認定試験
21	火		21	木	単位認定試験
22	水		22	金	単位認定試験
23	木		23	土	単位認定試験
24	金		24	日	単位認定試験
25	土	卒業研究履修ガイダンス(予定)	25	㊦ 閉所日	単位認定試験
26	日		26	火	単位認定試験
27	㊦ 閉所日		27	水	
28	火		28	木	
29	水		29	金	
30	木		30	土	
上旬:卒業研究履修の手引 配布			31	日	

2022年度第1学期 予定表

8 月 (August)		9 月 (September)	
1	☾ 閉所日	1	木 <第2回>第2学期学生募集受付・学部生・修士選科生・修士科目生(～9/14)
2	火	2	金 図書室・視聴学習室閉室
3	水	3	土 図書室・視聴学習室閉室
4	木	4	日 図書室・視聴学習室閉室
5	金	5	☾ 閉所日
6	土	6	火 図書室・視聴学習室閉室
7	日	7	水 図書室・視聴学習室閉室
8	☾ 閉所日	8	木 図書室・視聴学習室閉室
9	☼ 閉所日	9	金
10	☾ 閉所日	10	土
11	☼ 閉所日 (山の日)	11	日
12	☾ 閉所日	12	☾ 閉所日
13	☼ 閉所日	13	火
14	☾ 閉所日	14	水
15	☾ 閉所日 2022年度第2学期科目登録申請受付(～8/30(郵送)、8/31(web)) 2023年度修士全科目・博士全科目出願受付開始(～8/26)	15	木
16	火	16	金
17	水 夏季集中型科目(司書教諭)通信指導提出期限(予定)	17	土 埼玉フェスタ(予定)
18	木	18	日 埼玉フェスタ(予定)
19	金	19	☾ 閉所日 (敬老の日)
20	土	20	☼ 閉所日
21	日	21	水
22	☾ 閉所日	22	木
23	火	23	☾ 閉所日 (秋分の日)
24	水	24	土
25	木	25	日
26	金	26	☾ 閉所日
27	土	27	火
28	日	28	水
29	☾ 閉所日	29	木
30	火 2022年度第2学期科目登録申請期限(郵送)	30	金
31	水 2022年度第2学期科目登録申請期限(web)	下旬:卒業証書・学位記授与式(予定)	

下旬:成績通知送付

教員免許更新講習修了認定試験(8月下旬～9月上旬)

2022年度第2学期 予定表

10 月 (October)			11 月 (November)		
1	土	放送授業開始(～1/20) 2023年度大学院修士全科目・博士全科目入学者第1次選考試験	1	火	同時双方向Web授業開始(～2/28)
2	日		2	水	
3	月	閉所日	3	木	閉所日 (文化の日)
4	火		4	金	
5	水	オンライン授業開始(～2/28)	5	土	
6	木		6	日	
7	金		7	月	閉所日
8	土	新規入学者ガイダンス(予定)	8	火	通信指導提出期間開始(～11/29(web))
9	日		9	水	
10	月	閉所日 (スポーツの日)	10	木	
11	火	閉所日	11	金	
12	水		12	土	
13	木		13	日	
14	金		14	月	閉所日
15	土	面接授業開始(～1/29) 面接授業空席発表(12時)	15	火	通信指導提出期間開始(～11/29(郵送))
16	日		16	水	
17	月	閉所日	17	木	
18	火		18	金	
19	水		19	土	
20	木	面接授業追加登録開始	20	日	
21	金		21	月	閉所日
22	土		22	火	閉所日
23	日		23	水	閉所日 (勤労感謝の日)
24	月	閉所日	24	木	
25	火		25	金	
26	水		26	土	
27	木		27	日	
28	金		28	月	閉所日
29	土		29	火	通信指導提出期限
30	日		30	水	
31	月	閉所日	下旬: 2023年度第1学期学生募集要項配布・郵送受付 (学部生、修士選科生・修士科目生)～3月中旬 <第1回> 出願受付(学部生、修士選科生・修士科目生)～ 2/28		

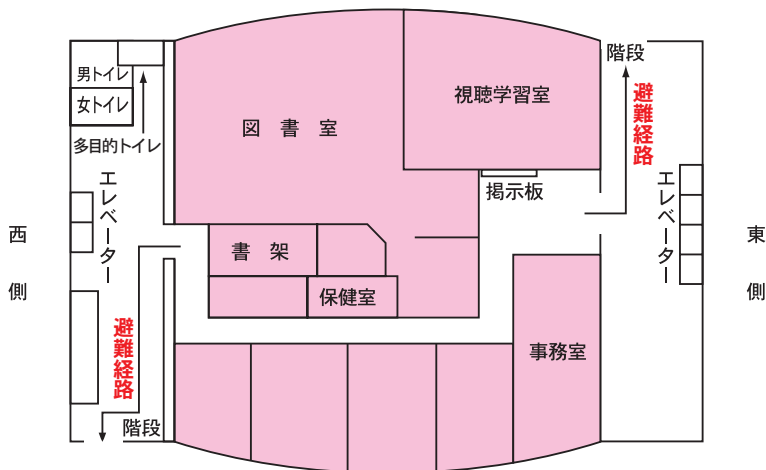
2022年度第2学期 予定表

12 月 (December)			1 月 (January)		
1	木		1	㊦	閉所日
2	金		2	㊦	閉所日
3	土		3	㊦	閉所日
4	日		4	㊦	閉所日
5	㊦	閉所日	5	木	
6	火		6	金	
7	水		7	土	
8	木		8	日	
9	金		9	㊦	閉所日 (成人の日)
10	土		10	火	
11	日		11	水	
12	㊦	閉所日	12	木	
13	火		13	金	
14	水		14	土	
15	木		15	日	
16	金		16	㊦	閉所日
17	土		17	火	冬期学習期間(再放送等)開始(～3／31)
18	日		18	水	単位認定試験
19	㊦	閉所日	19	木	単位認定試験
20	火		20	金	単位認定試験
21	水		21	土	単位認定試験
22	木		22	日	単位認定試験
23	金		23	㊦	閉所日
24	土		24	火	単位認定試験
25	日		25	水	単位認定試験
26	㊦	閉所日	26	木	
27	火		27	金	
28	水		28	土	
29	㊦	閉所日 年末・年始学習期間(～1／4)	29	日	
30	㊦	閉所日	30	㊦	閉所日
31	㊦	閉所日	31	火	

2 月 (February)			3 月 (March)		
1	水		1	水	〈第2回〉第2学期学生募集受付・学部生・修士選科生・修士科目生(～3月中旬)
2	木		2	木	
3	金		3	金	
4	土		4	土	
5	日		5	日	
6	月	閉所日	6	月	閉所日
7	火		7	火	
8	水		8	水	
9	木		9	木	
10	金		10	金	図書室・視聴学習室閉室
11	土	閉所日 (建国記念の日)	11	土	図書室・視聴学習室閉室
12	日	閉所日	12	日	図書室・視聴学習室閉室
13	月	閉所日 2023年度第1学期科目登録申請受付(～2/27(郵送)、2/28(web))	13	月	閉所日
14	火		14	火	図書室・視聴学習室閉室
15	水		15	水	図書室・視聴学習室閉室
16	木		16	木	図書室・視聴学習室閉室
17	金		17	金	
18	土		18	土	
19	日		19	日	
20	月	閉所日	20	月	閉所日
21	火		21	火	閉所日 (春分の日)
22	水		22	水	
23	木	閉所日 (天皇誕生日)	23	木	
24	金		24	金	
25	土		25	土	
26	日		26	日	
27	月	閉所日 2023年度第1学期科目登録申請期限(郵送)	27	月	閉所日
28	火	2023年度第1学期科目登録申請期限(web)	28	火	
下旬:成績通知送付			29	水	
			30	木	
			31	金	

下旬:卒業証書・学位記授与式(予定)

10階



事務室 履修に関すること、各種手続き、学生証や諸証明の発行等を行います。

図書室 図書室の利用については、19～21ページをご参照ください。

視聴学習室 視聴学習室に視聴学習機器およびパソコンを学習用として在学生に設置しております。利用は事前予約制です。学習と関係のない利用はできません。必ず埼玉学習センターのウェブサイトをご確認ください。
なお、印刷環境はございません。

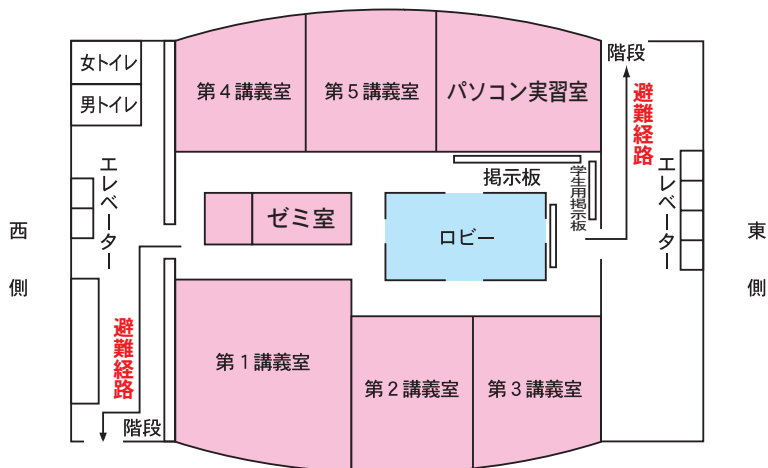
視聴学習機器：放送番組および補助教材の視聴ができます。

利用については 21 ページをご参照ください。

パソコン：学習用として在学生に開放しております。

保健室 学習センター内において、気分が悪くなった時などに利用することができます。なお、利用する場合は、事務室へお申し出ください。

9 階



講義室 面接授業等に使用します。

パソコン実習室 パソコンを利用した面接授業等に使用します。

ゼミ室 学習相談、論文指導およびミーティング等に使用します。

ロビー 感染症対策のため、ロビーの机、椅子は当面の間ご利用いただけません。

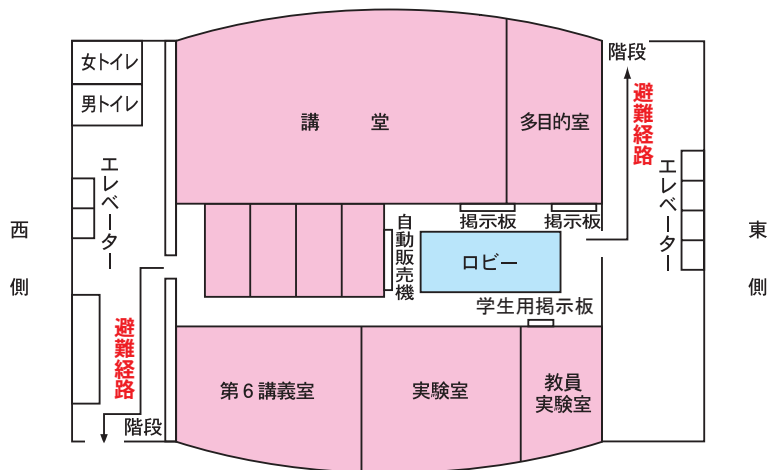


第1 講義室



パソコン実習室

8 階



講 堂・多目的室

入学者の集い、卒業式、講演会、面接授業等に使用します。

講 義 室

面接授業等に使用します。

実 験 室

実験の面接授業で使用します。

ロ ビ ー

自動販売機が備えてあります。
感染症対策のため、ロビーの机、椅子は当面の間ご利用いただけません。



入学者の集い



卒業証書・学位記授与式

図書室の利用

【事前予約制です。予約方法等は埼玉学習センターのウェブサイト等により公表しますのでご確認ください。】

図書室には、**辞典・事典**などの参考図書、授業に関連した各分野の**代表的図書、印刷教材、雑誌**が備えられています。利用規程及び下記の利用方法、留意事項を守ってご利用ください。

入室

- ① 入室の前に**学生証を窓口に提示してください。**
- ② 飲食及び飲食物の**持込は禁止です。**
他の人の迷惑にならないよう、音の出る機器の使用や会話を慎んでください。
- ③ 図書室、視聴学習室では**携帯電話・スマートフォンをマナーモードにしてください。**

閲覧

埼玉学習センター所蔵の図書は閲覧のみです。

書架は開架式です。図書資料は日本十進分類法（NDC）により分類され、原則として分野別に配架されています。

☆**閲覧後、図書資料は、必ずもとの場所に戻しておいてください。**

検索

書名や著者名が分かっている場合は、放送大学附属図書館の検索サイト OPAC (<https://catalog.ouj.ac.jp/>) により、検索するのが便利です。

OPAC とは Online Public Access Catalog の略で〈図書館蔵書検索システム〉のことです。本部図書館・他学習センター・他大学の蔵書などの資料の所在場所や状況がわかります。

本部図書館所蔵図書の貸出・返却

- ① 貸出可能冊数は下記のとおりです。

			図 書 資 料
			本部図書館所蔵
貸出数	学 部 学 生		10 冊以内
	大学院	修 士	20 冊以内
		博 士	30 冊以内
貸 出 期 間			1 ヵ月
貸 出 延 長			・（予約者がいない場合） 1 回のみ可 ・延長手続きの日より 2 週間

- ② 埼玉学習センターの開所時間中は窓口にご返却ください。
- ③ **閉室後はブックポストをご利用下さい。**（10F エレベーターホール）〈留意事項〉

☆ 図書を延滞中の学生は、新たな図書の貸出サービスを受けられなくなりますのでご注意ください。

☆ 図書を破損・紛失した場合は、必ず学習センターに連絡の上指示を受けてください。

図書室の利用

本部図書館 経由のサービス

本部図書館に直接行くことができない場合でも、OPAC で申込みをすることにより、以下のサービスを受けることができます。

- ① 本部図書館に所蔵する資料の利用
 - ② 他大学図書館等の利用（閲覧利用（許可証が必要）／文献複写／現物貸借依頼）
 - ③ 参考調査
- 詳細については、受付カウンターに掲示してある「放送大学附属図書館を経由する各サービスについて」をご覧ください。

〈留意事項〉

- ☆ 利用に制限があります。
- ☆ 有料のサービスもあります。
- ☆ 時間がかかることもありますので、余裕をもって申し込んでください。
- ☆ 他大学等の図書館を利用できるのは、放送大学学生の権利ではなく、相手大学図書館の好意に基づくものです。当該大学の利用規則等を十分理解したうえで、当該図書館の指示に従ってください。

本部図書館の利用

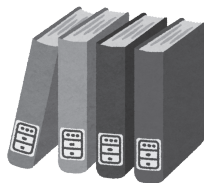
本部図書館は放送大学生であれば誰でも利用できます。
利用する際は、学生証が必要となります。
詳細については、「図書館利用案内」をご覧ください。
(本部図書館ウェブサイト等)

文献複写

- ① 「文献複写申込書」に所定の事項を記入してください。
- ② 複写する図書資料と学生証を、受付窓口へ提出してください。
- ③ 料金は **1 枚 10 円** です。(カラーは 50 円)
両面コピーの場合は 1 枚あたり 20 円となります。(カラーは 100 円)
- ④ 受付時間は、閉室の 30 分前までです。

〈注意事項〉

- ☆ 著作権法により、次のような制限があります。
 - ・本センターの図書室にある図書であること。
 - ・学習上、研究上必要なものであること。
 - ・図書の場合、全体の頁数の半分以上を超えないこと。
 - ・一人につき一セットにすること。



ネットライブラリー (電子ブック)

放送大学生は、電子ブックをご自宅でも読むことができます。
放送大学ウェブサイト→附属図書館(本部図書館)→電子ブック→
Netlibrary (EBSCOhost)、SpringerLink で検索してください。

埼玉大学 図書館の利用

学生証を提示し、所定の手続きを経て閲覧、文献複写ができます。
詳細については、埼玉大学図書館にお問い合わせください。

視聴学習室の利用

【事前予約制です。予約方法等は埼玉学習センターのウェブサイト等により公表しますのでご確認ください。】

学習センターでは、放送授業再視聴用タブレットを備えており、視聴学習室において、放送番組を再視聴できます。

視聴のしかた

- ① 放送授業再視聴用タブレットでシステム WAKABA にログインして、「放送授業のインターネット配信」からご視聴ください。
- ② その他、機器の操作・使用法について疑問がございましたら係員にお問い合わせください。

<留意事項>

- ☆ 食事、休憩等で席を一旦離れる場合はカードキーを携行してください。
- ☆ 放送教材の貸出は、放送大学本部で一括して行っています。貸出を希望する学生は、大学本部へお問い合わせください。
- ☆ 単位認定試験の一週間前から、空席がない状態が続くときは、時間制限を行うことがあります。



視聴学習室

学習上の注意事項等

面接授業

1. 面接授業の受講にあたっては、「面接授業時間割表」で開講日・時間帯を必ずご確認ください。

開 講 学 期	開 講 期 間
第 1 学期	2022年 4月16日～2022年7月31日
第 2 学期	2022年10月15日～2023年1月29日

2. 面接授業の科目登録で決定されたものについて、取消、クラスおよび学習センターの変更は認められません。
また、科目申請を行っても定員の都合上受講できない場合もあるので、後日送付される「科目登録決定通知書」でご確認ください。
3. 面接授業の開講日および担当講師は、都合により変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
4. レポートの提出について
レポートの提出方法・締切日については、科目毎に異なりますので授業で示します。なお、FAXでの提出は認めておりません。
5. レポートの返却について
レポートは指定された科目のみ返却いたします。なお、返却方法は授業で指定します。

学習上の注意事項等

面接授業 追加登録

登録状況により、定員に余裕のある授業科目については、追加登録ができます。＜面接授業の追加登録方法については埼玉学習センターのウェブサイト、システム WAKABA などでお知らせします＞
Web での登録はできません。

通信指導

放送授業・オンライン授業の通信指導は、各学期の途中で行います。期限までに必ずご提出ください。
通信指導の答案を期限までに未提出又は不合格の場合は、その科目の当該学期の単位認定試験を受験できません。

単位認定試験

＜原則、自宅で Web 受験となります。放送大学のウェブサイトやお知らせを必ずご確認ください＞
受験の際は、必ず「単位認定試験通知(受験票)」と学生証をご確認ください。

次学期の 科目登録

放送大学では、次学期に履修する授業科目は、前学期中に登録することとされています。(例年 8 月中旬～下旬、2 月中旬～下旬)

大学本部から「科目登録申請要項」が送られてきますので、「科目登録申請票」に履修を希望する科目を記入し、本部に郵送ください。本部で選考のうえ、「科目登録決定通知書」が送付されますので、期限までに授業料を納入ください。

なお、今学期で学籍が切れる方で、次学期も引き続き履修をご希望の場合は、再入学の手続きを行ってください。
※登録は、システム WAKABA からできます。

放送授業

B S 放送 テレビ 2 3 2 ch ラジオ 5 3 1 ch
インターネット配信
インターネットラジオ radiko (ラジオ)
ひかり TV

※地上放送テレビ・ラジオの放送は平成 3 0 年 9 月末で終了しました。

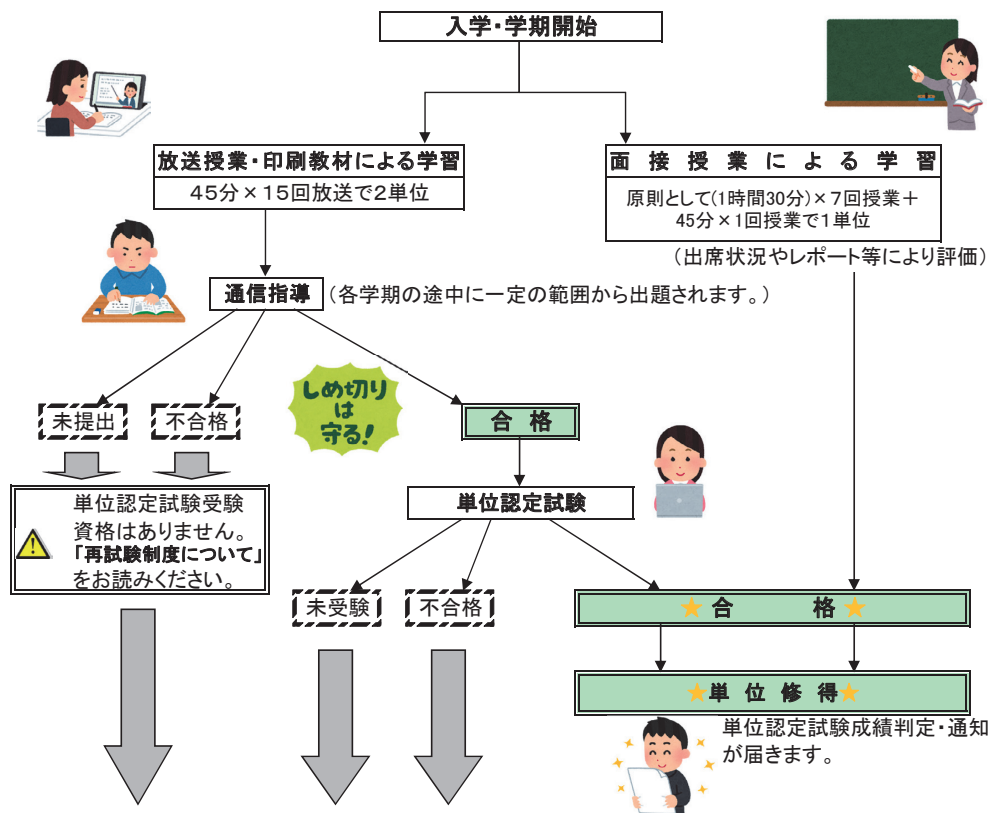
公開講演会

埼玉学習センターでは、埼玉同窓会(会員数約 8 5 0 名)や他大学・関係市町村などの他機関と公開講演会を共催しています。詳細は学習センターウェブサイト等をご覧ください。

単位修得までの学習の流れ

※オンライン授業については、放送大学ウェブサイトをご参照ください。

(「幼児理解の理論及び方法」(15)「教育課程の意義及び編成の方法」(15)「小学校外国語教育教授基礎論」(17)は除く。)



【 再試験制度について 】

§ 登録科目の単位修得が必要な方へ §

- ☆ 全科履修生・選科履修生（次学期にも学籍がある方）……………**手続き不要です。**
 - ◎ 通信指導未提出・不合格・・・次学期に限り再提出ができ、合格すれば再試験が受けられます。
 - ◎ 通信指導合格で単位認定試験未受験・不合格・・・次学期のみ再試験が受けられます。
- ☆ 全科履修生・科目履修生・選科履修生（次学期に学籍が無い方）……………**再入学が必要です。**
 - ◎ 通信指導未提出・不合格・・・次学期に限り再提出ができ、合格すれば再試験が受けられます。
 - ◎ 通信指導合格で単位認定試験未受験・不合格・・・次学期のみ再試験が受けられます。

再試験は1回のみです。再試験でも不合格の場合は新たに科目登録（在学期間が無くなる場合は再入学）が必要です。

書類の提出は必ず期限内にお願いします。提出後の変更・追加はできません。

(補足) 夏季集中型科目の再試験の取り扱いとは上記と異なります。通信指導未提出又は不合格の場合、再試験は受験できません。

学習相談

<概要>

学習の方法、進め方、卒業研究、大学院進学など、就学上の諸問題について、当センターの客員教員（33～35ページ参照）が相談に応じます。新型コロナウイルス感染症対策として、当面の間、対面での実施を控え、e-mailでの実施となりますので、ご了承ください。

履修方法や各種申請等の相談については、e-mailもしくはお電話でご連絡いただければ、事務職員が随時対応いたします。簡易な質問は窓口でも承ることができますが、お時間を要する相談等については、e-mailもしくはお電話でのご連絡をお願いいたします。お電話での相談の場合、改めて日時をご予約いただくこともございますので、ご了承ください。なお、相談内容については対応者及び関係教職員限りとし、秘密は厳守されますので、ご安心ください。

<申込み方法>

① 電子メール・FAXによる学習相談

質問は下記の項目をテキストメール（又はFAX）で、項目番号・内容を列記のうえ送信願います。

宛先 saitama-sc@ouj.ac.jp（FAXの場合は048-858-2615）

件名 【学習相談】（学生番号 氏名）

本文 1. 相談希望教員名

2. 相談内容（何をどこまで相談したいか、知りたいかを具体的に箇条書きで記載ください。）

※セキュリティ上の理由から、添付ファイルがある相談メールは開封いたしませんので、必ずメール本文にご入力ください。

② 教員との面談による学習相談【感染症対策のため、一時停止中です】

学習の方法、すすめかた、卒業研究、大学院進学など、修学上の諸問題について相談に応じます。必ずしも専門分野にこだわらず一般的な相談も可能です。

希望者は、事前に事務室に備えてある「学習相談申込票」に記入のうえ、申し込んでください。希望者と教員双方の日程を調整したうえで、相談日を決定します。

<留意事項>

☆ 放送授業の主任講師に対する質問については、学生生活の栞「質問について」のページを参照願います。

☆ 通信指導・単位認定試験・大学院入試問題内容、各種申込、面接授業レポート提出、本学と関係ない内容、或いは担当者が不適切と判断したものは、対応致しかねますのでご了承ください。

サ ロ ン

【感染症対策のため、一時停止中です】

所長・客員教員によるミニセミナー“サロン”を、学生を対象に不定期に開催しています。専門から身近な話題まで、わかりやすく話し、学生の皆さんが自由に質問・討論に参加できる、授業とはひと味ちがったひとときです。

センターウェブサイト、ポスター掲示などで随時お知らせします。申込みは学習センター窓口、または電話（048-650-2611）まで、お気軽にご参加ください。

諸手続・諸証明等

各種届（願）出、証明書の手続きに必要な書類は「**学生生活の栞**」巻末及び**学習センター**に備えてあります。必要事項を記入のうえ提出してください。

住所等の変更

現住所、連絡先の電話番号又は国籍に変更があったときは、速やかにシステムWAKABAから変更するか、所属学習センター（大学院は本部学生課又は教務課）に住所等変更届をご提出ください。

氏名の変更

氏名に変更があったときは、速やかに「氏名変更届」を戸籍、免許証（両面）等氏名を変更したことが確認できる書類の写しを添付の上、大学本部学生課入学・履修係（修士全科目・博士全科目は教務課）にご提出ください。併せて学生証再発行（手数料500円です）の手続きを所属学習センターで行ってください。

その他の変更 各種手続き・届出

その他の変更・各種手続は「学生生活の栞」を参照のうえ、期限内に行ってください。

これら手続きは、**システムWAKABAから手続きを行うことができます。**

手続き種類	学生区分	提出先
所属コース・専攻変更願	全科履修生	本部学生課入学・履修係
	修士全科目・博士全科目	本部教務課大学院企画・入試係
所属学習センター変更願	全科履修生・選科履修生 修士選科生	本部学生課入学・履修係
	修士全科目 博士全科目	本部教務課 大学院企画・入試係
単位認定試験受験センター変更願	全学生	本部学生課単位認定試験係

届出種類	学生区分	提出先	承認時期等
休学届	全科履修生・選科履修生 修士選科生	本部学生課 入学・履修係	提出した次の学期から
	修士全科目 博士全科目	本部教務課 大学院企画・入試係	
復学届	全科履修生・選科履修生 修士選科生	本部学生課 入学・履修係	提出した次の学期から
	修士全科目 博士全科目	本部教務課 大学院企画・入試係	
退学届	全科履修生・選科履修生 修士選科生	本部学生課 入学・履修係	提出した学期末
	修士全科目 博士全科目	本部教務課 大学院企画・入試係	

諸手続・諸証明等

学生教育研究 災害障害保険

教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために、学生教育研究災害傷害保険の制度があります。

手続きは、**事務室に学生証と保険料を添えて申し込んでください。**

保険名称	主な適用事項	保険料	保険期間
学生教育研究災害 傷害保険	正課中の事故に 対する治療費	1 0 0 円	原則として6年間 (ただし連続して同じ 学生種に在学中であ ること)
通学中等傷害危険 担保特約	通学中の事故に 対する治療費	4 0 円	
賠償責任保険	正課中の他人へ の賠償	3 4 0 円 (年額)	1 年毎(在学中)

※入学時期により保険終期が3月末(4月入学生)か9月末(10月入学生)で異なります。

学割証の発行

●一般普通回数乗車券(片道200km以内の同一往復路を利用する場合)と普通乗車券(片道100kmを超えて卒業研究の調査・研究のための移動、面接授業の受講および単位認定試験の受験等の場合)があります。

●利用が認められる範囲

教養学部全科履修生および大学院修士全科目生・博士全科目生が、自宅「最寄駅」から所属の学習センター等に、次の目的で通学等する場合

- ① 面接授業の受講および単位認定試験の受験をする場合
- ② 所属学習センターの図書室・視聴学習室の利用
- ③ オリエンテーションおよび学習相談への出席
- ④ 教養学部卒業研究の調査のため指導教員の指示により旅行する場合および大学院修士全科目生・博士全科目生が研究指導のため指導教員の指示により移動する場合、又は学外における実習を行う場合
- ⑤ その他大学が必要と認める場合

諸証明の発行

在学証明書、成績・単位修得証明書および在学期間証明証等の証明書交付については、事務室でお手続きください。

証明書の発行手数料は、1通につき200円です。

郵送で申し込むこともできます。以下を同封ください。

- ① **諸証明書交付願**
- ② **手数料**(定額小為替又は現金書留)
- ③ **返信用封筒**<長形3号>に84円切手貼付・宛名明記
- ④ 返信する際に封筒の重量が25gを超えた場合は、料金不足分受取人払いとして返送いたします。

施設の利用・課外活動等

【施設の利用は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時停止しております。再開については埼玉学習センターのウェブサイトでお知らせします。】

講義室・講堂・演習室等の利用

講義室・講堂・演習室等の利用はインターネットでの申込みとなります。

ただし、以下については貸出いたしません。

- ☆ 単位認定試験前日および試験期間
*試験期間中は、8・9階ロビーの利用もできません。
- ☆ 大学院入学試験日前日から翌日
- ☆ 面接授業開講日およびその前後日
- ☆ その他、学習センターの行事日前日から翌日

学生用掲示板

8階及び9階ロビーに学生用掲示板があります。文書・ポスター等の掲示を希望する場合は、「文書掲示願」を提出し許可を受けてください。**掲示期間は3週間以内です。**

なお、埼玉CSC交流会加盟学生団体および埼玉学習センター学生団体については、新規メンバー勧誘を目的としたサークル紹介掲示(活動日等情報は含まれないものとする)に限り、申請のあった学期翌学期開始後1ヶ月までとなります。

学生作品展示用壁面

9階ロビー正面壁面に学生作品展示用の壁面があります。ここは、学生(卒業生含む)が自ら制作した絵画・写真・書・俳句等の発表の場として設けたものです。

作品の展示を希望する場合は「作品等展示願」を事務室に提出し許可を受けてください。**展示期間は原則として1ヶ月以内です。**なお、設置・撤去は申請者をお願いしています。

サークル・学生団体

学生が互いに研究会・勉強会およびスポーツ活動を行うために、サークル・学生団体を設立し、活動を通じて学生相互の親睦を深めています。(団体設立は学生の葉を参照)

サークル・学生団体については、「学生団体一覧」(29～30ページ)をご参照ください。

学生研修旅行

【現在は実施を見合わせております。】

教育の一環として、知識を深め、教養を高め、併せて教職員と学生相互の交流を図るために、年間に1回の予定で実施しています。

実施日時等については、埼玉学習センターのウェブサイトでお知らせします。

学生団体一覧

団 体 名	目 的	連 絡 先
パソコンサークル C o m p a s s	誰もが、自由自在にパソコンをあやつり、情報化時代における自己の確立を目的とするとともに会員相互の親睦を図ること。	福島 薫 090-3213-8002
ソ シ ア ル ダ ン ス ク ラ ブ	①比較的簡単なステップでダンスの楽しみと健康維持を目指します。 ②フォーメーションダンスを優雅に楽しく踊れることを目指します。 ③基本ステップの練習を通して、ダンスの基本技術の習得を目指します。 ④ダンスを通し会員の親睦を図り豊かな学生生活を楽しみます。	坂田 友信 090-3535-7673
江戸時代の古文書 を 読 む 会	江戸時代の古文書を読むことにより、当時の文化の鑑賞を目的とする。	原 義正 080-5003-5515
埼 玉 英 語 倶 楽 部	お互いの個性を尊重し英語学習を通して会員の親睦を深める。英語力を向上する事及び英語を通した国際文化交流につなげる事を目指します。	玉置 好孝 048-687-4752
む さ し 野 の 会	会員間の親交を深め、豊かな人間関係を形成する。 勉強会、小旅行等のイベント活動、パソコン楽習会、懇親会等を実施。	富田 尚隆 04-2959-6213
健 康 体 操 研 究 会	毎日を健康に過ごせるよう、こころと体のバランスを目指します。ストレッチボール、棒、ゴムベルト等で体をほぐし、転倒予防の筋トレやウォーキング、肩こり・腰痛予防のダンシング（ラテン、盆踊り、ディスコ）など、会員の親睦を深めながら健康体操を楽しみます。 講師 難波明美	宮島 かほる 048-647-7035
ラ ル ゴ 体 ほ ぐ し の 会	気功、ヨガ、ストレッチ、体操などを組み合わせたワーキングを行っています。「無理せず、自分のペースで」をモットーに体と心をほぐします。	大島 祥市 048-774-4588
朗読の会「こころ」	朗読を通した豊かな人間形成と楽しい仲間づくりを目的とします。朗読の魅力は、心に響く名文や心の機微に触れる作品を声に出して読むことにより、生きることの喜びや悲しみを深く理解できるようになり、心に希望の灯をともせることにあります。フェスタでの発表を通じその魅力を伝え広げていくことを目指します。	坂本 賢一 048-683-7595 kensakamoto1969cuhu@ jcom.zaq.ne.jp
バ ラ ン ス 体 操 “ 悠 悠 ”	健康の維持向上の為に、各種体操（練功18法、チベット、呼吸法、ストレッチ）気功、ウォーキング全般を行い“バランス”のとれた体作りを心がけています。心身ともにリラックスできる深い呼吸法を取り入れて、老化予防を目指します。“い（良）い・加減”をモットーとしています。	橋本 安義 090-4753-5317

課外活動等

団 体 名	目 的	連 絡 先
Wienerwald Musikfreunde	茂木先生の指導で西洋古典音楽（バッハ、モーツァルト、シューベルト等）を中心に、合唱、器楽を楽しむサークルです。初めて本格的な古典音楽に接したかたが多く、けしてうまくはありませんが、2018年にはサークル名の由来でもある、ウィーンペーターズ教会で公演しました。初心者の方の見学を歓迎します。	南雲 功 090-6923-4424
舞 踏 研 究 会	①社交ダンス等が音楽に合わせて踊れるようになります。 ②初心者を中心にダンスの基本に立って学び合います。 ③体に不自由を感じる方も積極的に取り組めるダンスを目指します。 ④ダンスを踊る場や練習する場を提供します。 ⑤その成果を多彩な方法で発表します。 講師：文部科学省所管ダンス教室 より男女各一名	野畑 昭徳 090-3503-0960 a-deschamps@nifty.com
お ぎ の 会	・共に学び合いながら、学生生活を楽しく有意義なものにする。 ・出会いを楽しみながら、多くの皆様のご協力を得て、交流会・講演会・コンサート等の企画・運営をする。	福盛田恵子 080-1242-7352
がん哲学サークル 「C O C O N」	がん哲学カフェの開催を通して、放送大学学生の対人支援スキルの実践的な向上、がん患者の支援、および、放送大学学生の社会貢献を目的とする。	茂木 佐知子 gantetsu.cocon. ouj2020@gmail.com

埼玉学習センター関係団体

組 織 名	目 的	連 絡 先
埼 玉 C S C 交 流 会	本会は、放送大学埼玉学習センター所属の各学生団体、同窓会をもって構成し、埼玉大学学習センターとの連携のもとに運営し、当センターの学生団体・同窓会および学生の交流を深め、さらに他の学習センターとの交流、放送大学の発展、地域社会への貢献等を目的とする	大島 祥市 048-774-4588
放 送 大 学 埼 玉 同 窓 会	会員の親睦、情報交換、および相互研鑽を図るとともに、他の放送大学同窓会および放送大学埼玉学習センターとの連携を密にし、放送大学の発展に寄与することを目的とする。（令和3年1月1日現在 会員数約850名）	尾山 光良 090-3042-9558

単位認定試験について

【原則、自宅で Web 受験となります。】

1. 2022年度第1学期単位認定試験日程

Web 受験方式（試験期間）

2022 年 7 月 15 日（金） 9:00 ～ 7 月 26 日（火） 17:00

郵送受験方式＜特定科目のみ＞（提出期間）

2022 年 7 月 15 日（金） ～ 7 月 26 日（火） 必着

2. 単位認定試験実施方法

「Web 受験方式」を基本とし、一部の科目^{*}のみ「郵送受験方式」より実施します。各科目の実施方法・出題形式（択一式・記述式・併用式）は、『2022 年度第 1 学期授業科目案内』に記載しておりますので、必ずご確認ください。

※「正多面体と素数（'21）」「日本美術史の近代とその外部（'18）」「量子化学（'19）」のみ

【自宅等で Web 受験が困難な場合】

必ず期間内に「学習センター受験申請書」を大学本部へ提出してください。

なお、「学習センター受験申請書」は印刷教材、もしくは学生生活の栞等に同封しております。

学習センターで受験する場合の試験の日程は「授業科目案内」等でご確認ください。

【第 2 学期の単位認定試験について】

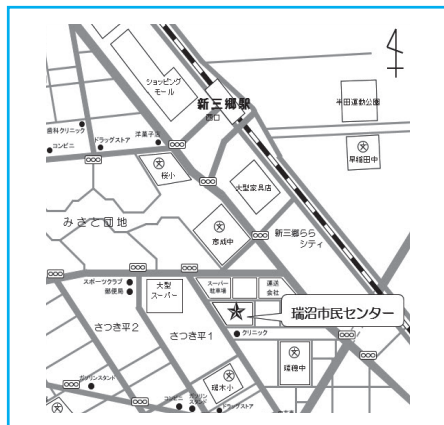
第 2 学期の単位認定試験も、第 1 学期と同様に Web 受験・郵送受験を予定しております。決定次第、放送大学のウェブサイト等でお知らせしますので、必ずご確認ください。

DVD再視聴施設

※ DVD 再視聴施設では配架していない放送教材がありますので、ご注意ください。
配架済放送教材のタイトルについては各施設へお問合せください。

埼玉学習センター三郷校 (DVD 再視聴施設)

〒 341-0004 三郷市上彦名 870
三郷市立瑞沼市民センター
JR 武蔵野線新三郷駅 西口下車徒歩 15 分
TEL 048-930-7759
休 館 日：年末年始
利用時間：9:00 ～ 21:00



埼玉学習センター三郷中央校 (DVD 再視聴施設)

〒 341-0038 三郷市中央 1 丁目 14-2
三郷中央におどりプラザ
つくばエクスプレス三郷中央駅徒歩 3 分
TEL 048-930-7759
休 館 日：年末年始
利用時間：9:00 ～ 21:00



埼玉学習センター和光校 (DVD 再視聴施設)

〒 351-0114 和光市本町 31-1
和光市図書館
東武東上線和光市駅 南口下車徒歩 8 分
TEL 048-463-8723
休 館 日：毎月第2・第4木曜日（1月及び12月を除く）、年末年始、特別図書整理期間
利用時間：月曜日～金曜日 9:30 ～ 20:00
土・日・祝 9:30 ～ 18:00



放送大学本部・近隣の学習センター

放送大学本部

学 園 本 部	郵便番号	住 所	電話番号	最 寄 り 駅
	261-8586	千葉市美浜区若葉 2-11	043-276-5111	幕張駅 (JR 総武線) 海浜幕張駅 (JR 京葉線)

近隣の学習センター

セン タ ー 名	郵便番号	住 所	電話番号	最 寄 り 駅
茨 城	310-0056	水戸市文京 2-1-1 (茨城大学キャンパス内)	029-228-0683	水戸駅 (JR 常磐線他)
栃 木	321-0943	宇都宮市峰町 350 (宇都宮大学峰キャンパス内)	028-632-0572	宇都宮駅 (JR 宇都宮線他)
群 馬	371-0032	前橋市若宮町 1-13-2	027-230-1085	前橋駅 (JR 両毛線)
千 葉	261-8586	千葉市美浜区若葉 2-11 (放送大学本部敷地内)	043-298-4367	幕張駅 (JR 総武線) 海浜幕張駅 (JR 京葉線)
東 京 渋 谷	150-0043	渋谷区道玄坂 1-10-7 (五島育英会ビル 1 階)	03-5428-3011	渋谷駅 (JR 線、東急東横線、京王井ノ頭線、東京メトロ)
東 京 文 京	112-0012	文京区大塚 3-29-1 (筑波大学東京キャンパス内)	03-5395-8688	茗荷谷駅 (地下鉄丸ノ内線)
東 京 足 立	120-0034	足立区千住 5-13-5 (学びピア 21 内)	03-5244-2760	北千住駅 (地下鉄千代田線他)
東 京 多 摩	187-0045	小平市学園西町 1-29-1 (一橋大学小平国際キャンパス内)	042-349-3467	一橋学園駅 (西武多摩湖線)
神 奈 川	232-8510	横浜市南区大岡 2-31-1	045-710-1910	弘明寺駅 (市営地下鉄、京浜急行)
山 梨	400-0016	甲府市武田 4-4-37 (山梨大学甲府キャンパス内)	055-251-2238	甲府駅 (JR 中央線)
長 野	392-0004	諏訪市諏訪 1-6-1	0266-58-2332	上諏訪駅 (JR 中央線)

放送大学ウェブサイト <http://www.ouj.ac.jp>

堀 尾 健一郎（ほりお けんいちろう）

役職：学習センター所長・特任教授

専門：生産工学・加工学

「ものづくり」を専門としています。我々の身の回りのものは一つもしくは複数の部品から構成されていますが、個々の部品は素材からいろいろな過程を経て完成品になります。その過程の中でも、特に“削る”、“磨く”、“（放電、レーザーなど）局所高エネルギーで除去する”などについての研究開発に従事してきました。企業の技術者として研究開発した経験もあります。ダイヤモンドを磨く技術や、反対にダイヤモンドを工具として使って金属やプラスチックを削る技術を研究したこともあります。

伊 藤 博 明（いとう ひろあき）

役職：客員教授

専門：思想史・芸術論（人間と文化コース）

イタリアを中心として、ルネサンス期の思想と美術の関係、またバロック期のテクストとイメージ（図像）の関係をテーマとして、これまで研究を行ってきました。放送大学の授業においては、「星座の文化史」のように、広くヨーロッパの文化・思想・芸術を対象として講じています。民間のカルチャーセンターでは、占星術・錬金術・タロットなどのオカルト的分野についても、歴史的・理論的な観点からお話しています。

井 上 直 也（いのうえ なおや）

役職：客員教授

専門：宇宙放射線物理学・現代物理学（自然と環境コース）

専門は物理・宇宙ですが、自然科学全般や環境、工学の一部などについてご質問を受けられると思います。放射線分野を含めて理数系の社会教育や児童・生徒の才能教育にも取組んでいます。気軽に声をおかけください。適宜開催するサロン「ティータイム科学談話室」にもおいでいただき、科学を知ることを愉しみましょう。

大 橋 容一郎（おおはし よういちろう）

役職：客員教授

専門：哲学、思想史、認識論、ケアと身体哲学（人間と文化コース）

カント哲学などの西洋哲学、近代日本の哲学思想、科学の哲学やケアと身体論など、近現代の「認識論」を研究しています。情報・知覚・情動・意識・身体などについての新しい「知り方」を学びたい方、近現代の人文思想について知りたい方は、いつでもご連絡ください。

小 川 秀 樹（おがわ ひでき）

役職：客員教授

専門：新聞社経営、地域創生（社会と産業コース）

埼玉県庁の記者を皮切りに埼玉新聞社で報道、営業、経営に携わってきました。報道現場と企業経営の経験から、ローカルメディアの未来を考えています。無料デジタルメディアが地球を席巻する中で、有料プリントメディアは生き残れるのか。そしてローカルメディアは、地域づくりのために何に取り組むべきなのか。放送大学の学びの中から、地域への関心が高まり、地域参画する方が増えるとうれしいです。

神 庭 純 子（かみにわ じゅんこ）

役職：客員教授

専門：看護学（生活と福祉コース）

看護学の中でも特に公衆衛生看護や家族看護、看護教育について専門にしています。ナイチンゲール看護論を基盤にして、地域で暮らすすべての人々の健康づくりや生活づくり、家族としての成長を支える看護のあり方について考えていこうと思います。皆さんとの語らいを通して共に学び合うことができればと願っています。

島 村 徹 也 (しまむら てつや)

役職：客員教授

専門：情報工学、信号処理（情報コース）

情報工学を専門としております。AI を用いた、音声や画像や通信システムなどへの応用を研究していますが、元々は「信号」を如何に巧みに処理するかという、信号処理アルゴリズムの理論家でした。工学、理学にまたがる数学や技術系の話ができると思います。マルチメディアと呼ばれる分野のコアには、かなり共通した考え方がありますが、これらをわかりやすくお伝えできればと思います。お気軽に相談にいらしてください。

田 中 恭 子 (たなか きょうこ)

役職：客員教授

専門：経済地理学、人口地理学（社会と産業コース）

アメリカでは民主党と共和党の政治的イデオロギーの対立が激化しています。その地域的な対立関係を研究し、トランプ政権の今後に注目しています。またアメリカ福祉国家の特徴的な貧困シングルマザー世帯に対する保育支援や他の福祉プログラムを、スウェーデンのケースと比較研究を行いました。人口移動や出生率などの人口データを使った計量分析が専門です。

二 宮 裕 之 (にのみや ひろゆき)

役職：客員教授

専門：教科教育学（算数・数学）、教師教育（心理と教育コース）

教員養成や教員研修に関わる仕事をしています。主たる研究テーマは教科内容の学習指導で、特に算数・数学に焦点を当てています。学校で教科の内容を学ぶことの意味や意義、学習の目的などに関する「目標論」（なぜ、何のために勉強するのか）を踏まえ、教科の内容、学習・指導の方法、更にはその評価について研究しています。また、算数・数学の学習に関わる「数や図形の認識」、教師の指導力、国際教育協力、などのテーマにも取り組んでいます。

井 上 典 子 (いのうえ のりこ)

役職：客員准教授

専門：教育学・学校教育（心理と教育コース）

専門は学校教育です。長年、小中学校教育に携わってきました。激変する社会の中で子どもの育ち方も大きく変わりました。これから子どもたちにどんな教育が必要なのか、家庭や地域・社会は何をすればよいのか。皆さんとともに、未来に生きる子どもたちのことを考えてみたいと思います。気軽にお声かけ下さい。

江 口 幸 治 (えぐち こうじ)

役職：客員准教授

専門：民法（社会と産業コース）

専門は、私たちの生活に関する権利義務を定める民法です。民法は、制定後 120 年を過ぎた今も現役の法律ですが、さすがに最近では改正されることが増えました。特に債権法や家族法の改正は、今までにない大幅なものです。民法の改正が、私たちの生活にどのような変化をもたらすのか、様々な事例を検討しながら、みなさんと考えて行きたいと思います。

梶 原 直 樹 (かじはら なおき)

役職：客員准教授

専門：学習心理学 (心理と教育コース)

専門は、学習心理学です。人の行動が変容するからくりを明らかにしようとする分野です。ネズミを使った実験なども行っていました。埼玉学習センターでは、心理学実験と心理検査法基礎実習の、どちらも実習をともなう授業をもっています。放送大学には、いろいろな年代の、勉強に積極的な方がたくさんいるので、授業がとても楽しいです。そのような方々と、授業以外でもかかわれるのが楽しみです。どうぞよろしく願います。

加 藤 有希子 (かとう ゆきこ)

役職：客員准教授

専門：近現代芸術史、表象文化論 (人間と文化コース)

19 世紀から 21 世紀の視覚芸術を長く研究してきました。そしていわゆる美術館にある芸術作品だけではなく、広告、ファッション、報道、SNS などで使われるイメージも研究しています (視覚文化論や表象文化論の範囲になります)。私たちの生活に溢れる芸術や視覚イメージは、哲学、社会学、文学、ジェンダーなど様々な領域に関わります。みなさんのご研究を、多角的な分野からアドバイスをいたします。どうぞお気軽にお声をおかけください。

二 宮 祐 (にのみや ゆう)

役職：客員准教授

専門：高等教育論、教育社会学 (心理と教育コース)

戦後日本の大学政策、現代の大学教育のあり方、若者の学習と働き方の関係について研究しています。大学について深く考えてみたい、若者のキャリアや職業観についてもっとよく知りたいなどの相談に応じます。また、大学や若者に関することだけではなく、教育と社会の関係全般に関して学生自らが問いを設定して考察するためのお手伝いをいたします。大学とは何か、若者とは何か、一緒に考えてみましょう。

濱 中 眞 人 (はまなか まさと)

役職：客員准教授

専門：中小企業論 (社会と産業コース)

日本の企業の 99%以上が「多様性」を特長のひとつにした中小企業です。長年にわたり中小企業の経営支援に携わっている経験から、事業環境の変化を受ける中小企業、「理論」と「実践」を交えた講義を通じて、学生さんとの意見交換も大切にしながら、「中小企業に興味を持つ学生」が増えてくれることを目指した講義にしたいと思います。また、今後中小企業の経営に必要な可能性がある「社会性」にも踏み込んでいければと考えています。

米 川 聖 美 (よねかわ さとみ)

役職：客員准教授

専門：イギリス文学 (人間と文化コース)

専門は 19 世紀英文学で、特に詩人 John Keats です。この時代は、産業革命とフランス革命による近代化に伴うパラダイムの激変に直面し、人々は「近代的自己」という新たな価値基準を求め彷徨いました。この疎外感と苦悩を、新たな時代の予兆としてどのように詩人が作品に表わそうとしたのかを研究しています。最近、文学のみならず医学・精神学においてもキーツの再評価がなされ嬉しい限りです。コロナ禍も収まりつつありますので、洋画を見ながら作品に出てくるマザーグースや詩を楽しむ会なども考えておりますので、興味をお持ちのことを何でも、どうぞ気楽にお話にいらしてください。

埼玉学習センター

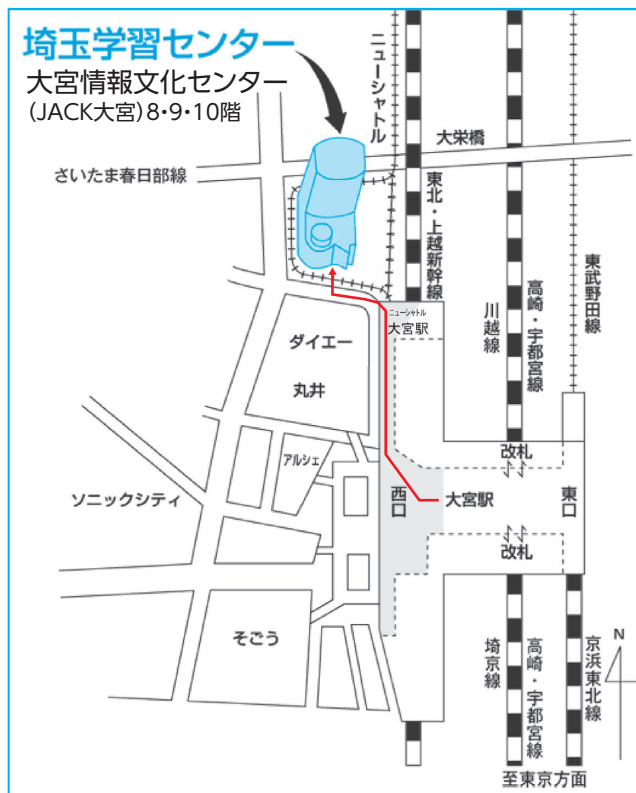
〒 330-0853 さいたま市大宮区錦町 682-2 大宮情報文化センター (8・9・10 階)

TEL:048-650-2611 FAX:048-650-2615

Email (問合せ等) : saitama-sc@ouj.ac.jp

ウェブサイト : <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>

JR 大宮駅西口から徒歩 5 分



埼玉学習センターのウェブサイトの写真付きでアクセス方法を掲載しております。

JR大宮駅西口(駅構内2階)から、埼玉新都市交通(ニューシャトル)大宮駅に向かって駅構内(2階)を歩き、改札口手前左側扉から駅構外に出ます。次に、連絡通路を右側に進と、前方右側少し奥に18階の建物が見えてきます。これがJACK大宮ビルです。放送大学埼玉学習センターは、この建物の8・9・10階の3フロアにあります。事務室は10階です。

放送大学埼玉学習センター

発行 2022年4月1日

所在地 〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2
JACK大宮ビル(8・9・10階)

電話 048-650-2611 (代表)

URL : <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>

氏 名

学 生 番 号

—

—